

学校体育用品の新しいカタチ

株式会社エバニュー

大正12年、金属運動具の製造卸として創業した株式会社エバニュー。学校体育用品のパイオニアとして多くの実績を積み上げています。都産技研が開発支援し、平成27年9月に販売を開始した新商品「ラインビークル」についてお話を伺いました。

厳しい市場環境の中で 新たな付加価値の創出が急務

(株)エバニューは、長年にわたり学校体育用品の開発製造で市場をリードしてきました。しかし、近年の少子化やそれに伴う学校の統廃合により、市場は縮小傾向にあると言います。さらに、同業他社の参入による価格競争の激化・製品の高機能化も進み、付加価値の創出が急務となりました。

「運動会用品の充実を目指して、新たな競技と商品をセットで提案するなど、今までにない事業展開でブランドイメージの構築・定着化を図っているところです。特に設計が据え置かれていたライン引きは、新しいコンセプトを持つ商品開発が必要となりました」(高橋氏)

アイデアを膨らませて デザインを一新

低価格化・高機能化する競合他社のライン引きと差別化を図るためには、従来品のイメージを一新するデザインが必要不可欠と判断しました。「都産技研から実地技術支援によりエンジニアリングアドバイザーを派遣してもらい、人目を惹くアイデアを提案いただきました。大型のタイヤは、スポーツカーからヒントを得たものです。ならば、フェンダーを付けたほうがよりそれらしくなるだろうと、アイデアを膨らませて現在のデザインに上げています」

ライン引きの持ち手にもこだわっています。「この形状は、大人も子どもも持ちやすいように配慮して設計しました(図)。持ち手の上部は大人が、下部は子どもが、それぞれ楽にラインを引ける

高さになっています」高さを変えることのできる可動式の持ち手は、耐久性と安全面で課題があったため、試行錯誤の末に、現在のカマナリ形状に行き着きました。

デザインが決まった後は、都産技研のAM(3Dプリンター)を使用し、試作を行いました。「AMを使用して試作し、細かいシミュレーションや動作試験を行いました。そのため、金型を使用するよりも、短期間でコストをかけずに『ラインビークル』を開発することができました」

安全性を重視する 市場ニーズに応えた仕上がり

お洒落な赤いボディと大型タイヤを採用した「ラインビークル」。楽な姿勢できれいなラインが引けるよう、持ち手・ラインガイド、内部の中空ローラーなどに、さまざまな創意工夫が施されています。「ラインビークルの開発では、デザイン性の高さだけでなく、安全面にもこれまで以上に配慮しました」

昨今の幼稚園や小学校では、より安全性を重視した商品が求められています。こうした市場ニーズを踏まえ、ラインビークルは、金属製ではなく樹脂製とし、角を極力減らして曲面に仕上げ、ボルトは引っかかりがないよう埋め込むなど、安全面での工夫が施されています。

斬新なデザイン性、子どもから大人、そしてプロのグラウンド整備員まで、誰も

が使いやすい形状、さらに工夫を凝らした安全性の高さから、『ラインビークル』は平成27年のグッドデザイン賞を受賞しました。

「市場ニーズに応える商品を開発していくために、今後も都産技研には、技術相談や依頼試験をお願いしたいと考えています」



株式会社エバニュー
MD 推進開発部アスレチック用品担当
課長代理

高橋 直氏



会社概要

代表者／代表取締役社長 岩井 大輔
創 業／大正12年3月
所在地／東京都江東区新砂1-6-35
イーストスクエア東京ビル6F
URL <http://www.evernew.co.jp/>
主な事業
学校体育用品の開発・製造・販売を中心に手掛ける。アウトドア用品の輸入卸等、幅広い事業展開も特徴。

活用した事業メニュー

今回都産技研は、実地技術支援Aによりエンジニアリングアドバイザーを派遣し、「ラインビークル」のデザイン提案を行いました。決定したデザインを基に自社で作成した3Dデータから、都産技研のAM(3Dプリンター)を利用して、試作品を製作。AMで出力するために、3Dデータの修正箇所をアドバイスしました。

実地技術支援

実地技術支援は、現場が抱える課題解決や製品開発を支援するために、都産技研が委嘱した高度な専門知識や経験を有する専門家(エンジニアリングアドバイザー)を派遣する制度です。エンジニアリングアドバイザーが伺う場合のほか、都産技研職員が伺う場合(無料)もあります。詳細は、総合支援窓口(TEL 03-5530-2140)にお問い合わせください。

種類	事業内容	料金
実地技術支援A	高度な専門知識、経験を有するエンジニアリングアドバイザー(外部専門家)を派遣します。	11,500円/日 1年間に20日まで利用可能
実地技術支援B	職員と都産技研登録の技術指導員が工場等の生産現場にお伺いし、技術的な支援を行います。	無料 1課題につき1日のみ利用可能
実地技術支援C	職員が工場等の生産現場にお伺いし、技術的な支援を行います。	無料

支援分野

電気、機械、金属、化学、放射線、生産管理、ISO、ファッション、デザイン、騒音振動、燃料電池、環境、商品評価、特許、プラント設計 その他



身長に合わせて持つ位置を変えることで、ラインを引きやすい角度を維持できます



カマナリ形状の持ち手は、大人と子どもの体格差を考慮して設計